

随想リレー



「梨花」が復刊されて本号で30号となりました。年3回として、丸10年経ったことになりす。私は初号からずっとその編集を務めてきました。

その間、お世話になった方々は、5人の会長と7人の所長、担当者、は優に10人の交代がありました。平成10年4月20日がその復刊第1号で、第13代会長の杉村公美さんの時代、所長が上村伴明さんから前田親保さんに交代された頃で、担当の大西重任さんとはあれこれ立ちあげた

東京鳥取県人会幹事広報副部長 遠藤 隆司  
「梨花」今昔ばなし  
私が発刊されています。主筆は澤田さんご自身と副会長で出版人の宋戸英人さんで、澤田さんが逝去された翌年で休刊となっていました。当時の紙面は「結婚相談」が大きなテーマ、広報部会の設立は願って



初代本部長に川口正男氏が就任

攻めの組織目指す 県東京事務所が東京本部に

本部長以下8名が交代

鳥取県東京事務所の名称が、4月1日から鳥取県東京本部に変わった。トシの呼称も事務所長から本部長になり、存在感が一段と増した感じ。これを契機に、スタッフも総メンバーのちょうど半数に当たる8人が入れ替わり、川口正男初代本部長(写真)らは着任早々から大張り切りだ。

本部内の各部署についてもより効率的に稼働させるため従来の担当制(総務担当、行政担当、観光物産担当など)を更替し、観光物産担当からチーム制(総務行政チーム、観光物産振興チーム、産業振興・定住支援チーム)に変更した。これにより、川口本部長は八頭郡若桜町出身。先のセンバツ野球大



▲入口の看板 ▲ショーウィンドウ



第30号  
2008年6月20日発行  
東京鳥取県人会事務局  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10F  
電話 03(5212)9178  
FAX 03(5212)9079  
発行責任者/上村正明  
編集/県人会広報部会  
http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyoffice

会が活躍した八頭高校から明治大学へ進み、県庁では県民室長、福祉保健部長、県土整備部長などを勤めてきた。東京勤務は初めてで、3人の娘さんがいづれも結婚したため今回は利恵夫人と一緒での転勤という。

本部長を補佐する副本部長(副所長)も交代。白石祐治前産業振興戦略室長が着任した。このほか、総務行政チームに井上直樹、川村悟副主幹、鳥羽理恵主事の三氏、観光物産振興チームに田中祥一、安藤誠己農林技術師、産業振興・定住支援チームに山本直生主幹の計6人が新たに任命された。

今回の大幅異動に伴い、県人会事務局メンバーも5人中3人が交代した。事務局長には川口本部長が当たり、山本圭介副主幹と横井おかり主事はそのまま留任だが、新たに白石副本部長と田中副主幹が加わった。

なお、今年3月まで県人会の世話役を勤めてくれた田村明敏所長は、財団法人鳥取県文化振興財団事務局長に就任し、前田修副所長は文化観光局副局長、山下篤生総務担当主幹は財団法人とつり政策総合研究センターにそれぞれ転出した。(本地滋夫記)

西伯町と日野町が合併して誕生した伯耆町は、鳥取県西部にある名峰大山の裾野に広がり、平野部には鳥取県三大河川のひとつ日野川が南北に流れる風光明媚な町です。昔、この地域は「伯耆の国」と呼ばれ、住民にも馴染みがあり、町から眺める大山「伯耆富士」のように、雄大かつ力強く発展することを願って「伯耆町」と名づけられました。今年で合併から3年が経ち、3月には、町民による伯耆町シンボルマーク選定委員会からの答申を受けて、町の木に「ギヤロク」、町の花に「菜の花」を、そして一体感を持った町づくりを推進していくために町民憲章を定めました。

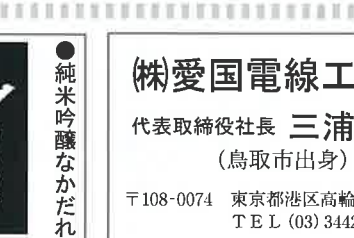
伯耆町では、夏に向けて地域再生戦略と豊かなふるさと創造を推進しています。伯耆町では、夏に向けて地域再生戦略と豊かなふるさと創造を推進しています。

アンテナショップは8月オープン 物販・飲食共運営は名越宗弘氏のグループ企業に  
在京鳥取県人待望のアンテナショップが、8月下旬にもオープンする運びとなった。場所はJR新橋駅から徒歩1分のSNTビル(港区新橋2-19-4)1・2階。公設民営の運営形態とし運営事業も慎重な選考の結果、倉吉市でホテルやみやげ物店を経営するグループ企業に決まり、現場では物販販売店舗、レストランへの内装設計が急ピッチで進められている。

また、公募の結果、店名は「食のみやこ鳥取プラザ」に決まった。場所選定の決め手となったのは①銀座、汐留地域が近づく、集客効果・情報発信力が高い②銀座・有楽町と比較し、賃料が安価③周囲に自治体アンテナショップの進出が目立ち、他県との連携による相乗効果が期待できる...など。

営業者は、飲食部門が株式会社ホテルセント・プレス倉吉で、物販部門が倉吉駅前みやげ物店を営む有明株式会社。代表取締役がともに名越宗弘氏というグループ企業で、両社では今後「物販・飲食一体による効率的な店舗運営を図っていき」としている。(本地滋夫記)

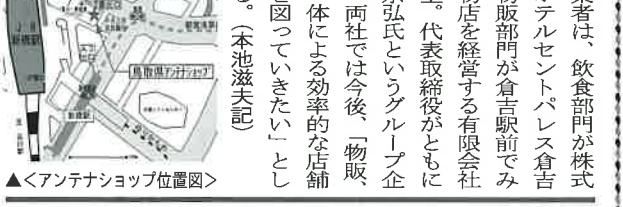
頑張り！ガイナレ鳥取 応援バスツアーも企画  
リーグ昇格を目指して日全燃焼の状態が続いている。今後、関東での試合は、11月1日の栃木県グリーンスタジアム、9日の千葉県市原競技場、30日の茨城県鹿嶋競技場、31日の茨城県鹿嶋競技場が予定されているが、1日の試合には、昨年同様県人会主催の応援バスツアーが企画されています。その時はチームがリーグ昇格の4位以内について、秋空に鳥取県人の歓声が響くことを期待したい。(山本記)



▲伯耆大山の雄姿



▲<SNTビル外観>



▲<アンテナショップ位置図>

伯耆町の夏  
伯耆町では、夏に向けて地域再生戦略と豊かなふるさと創造を推進しています。

山陰を再発見 厳選された「旨い味」「匠の人」「手作り工芸」を季刊で紹介  
キらり 春号  
発行元 (南)グリーンフィールズ  
購読に関するお問い合わせは、下記取扱い書店へ。  
東京新宿紀伊国屋書店 TEL 03-3354-0131  
http://s-kirari.net/

純米吟醸なかだれ  
大谷酒造株式会社  
社長 大谷 修子  
〒六八九一三三三  
TEL0858153101  
TEL0858153102  
FAX0858153101

株 愛国電線工業所  
代表取締役社長 三浦三郎 (鳥取市出身)  
〒108-0074 東京都港区高輪2-21-41  
TEL (03) 3442-2221

手打ちそば 茅ぶき屋根の かみや  
店主 田中 克尋 (伯耆町出身)  
〒351-0001  
埼玉県朝霞市上内間木  
760-0606  
TEL04844456  
TEL04844456  
年中無休 11AM-9PM営業

地域の夢、お客様の夢をかなえる 創造的なベストバンク  
株式会社山陰合同銀行東京支店  
東京都中央区日本橋兜町15-6 〒103-0026  
TEL 03-3669-0211 FAX 03-3639-5250  
URL http://www.gogin.co.jp



# 「鳥取県中南米移住史」を紐解く 32枚の写真は正に歴史の証明 本書の3分の1が移住者名簿

▼第2アリアンサ移住地のコーヒー園 ▼移民船「笠戸丸」(海外移住資料館所蔵)



これはブラジル移民(笠戸丸)が最初の移民781名(全船)を乗せて神戸港を出港した1908(明治41)年より100周年という歴史的節目となる。明治より昭和にかけて海外に新天地を求めた日本人約70万人。鳥取県からも2千数百名が渡航している。折も折「鳥取県中南米移住史」が刊行された。編集委員会によると編集の事業開始は移民90周年時、願って中中断、戦後、現状、若者、ブラジル国民

この本はブラジル移民(笠戸丸)が最初の移民781名(全船)を乗せて神戸港を出港した1908(明治41)年より100周年という歴史的節目となる。明治より昭和にかけて海外に新天地を求めた日本人約70万人。鳥取県からも2千数百名が渡航している。折も折「鳥取県中南米移住史」が刊行された。編集委員会によると編集の事業開始は移民90周年時、願って中中断、戦後、現状、若者、ブラジル国民

## ふるさと納税 鳥取の子どもたちの未来を応援してください

先般の地方税法等の一部改正により「ふるさと納税制度」がスタートしました。この制度は「鳥取が大好き」「鳥取の力になりたい」といった思いを「寄附金」の形にして応援していただく、住民税や所得税が軽減されるものです。制度化に当たっては、平井知事が有志の知事とともに地域間格差解消の一助として国に制度化を働きかけてきました。

本県でも寄附金の受け皿として県及び各市町村がそれぞれ基金を設け、寄附の受付を始めました。県ではこの制度により「取のよさを再認識していただく」とも「ふるさと納税」を促進し、鳥取県教育委員会教育総務課からのお知らせです。

ふるさと納税は、ふるさとを応援するだけでなく、地域の活性化や、子どもたちの未来を応援するのにも有効です。鳥取県教育委員会教育総務課からのお知らせです。

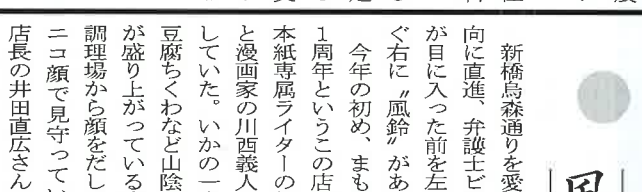
ふるさと納税は、ふるさとを応援するだけでなく、地域の活性化や、子どもたちの未来を応援するのにも有効です。鳥取県教育委員会教育総務課からのお知らせです。

尾崎明さん・春の叙勲  
瑞宝中綬章を受章  
71歳・元中国四国地方医務局長  
厚生行政事務功労が称えられました

## 山陰美遊食 うまいもんや 風鈴

新橋鳥森通りを愛宕通り方向に直進、弁士ビルの看板が目に入った前を左折したすぐ右に「風鈴」がある。今年初め、まもなく開店。加藤 川西両氏が倉吉出身。この人これを黙々と実践しているように思えてならない。これに風鈴を模った照明の色を添えている。

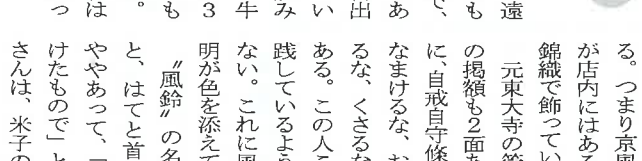
「風鈴」の名の由来を聞く。井田店長と正面入口



▲井田店長と正面入口

井田店長と正面入口

井田店長と正面入口



▲井田店長と正面入口



▲漫画/かわにし よしと

## 寄稿 もの申す!東京発

濱江 晋 (鳥取市青谷町出身 86歳)

1年に1回は古里鳥取に帰るようにしているが、町はさびしく心が沈む。活気策の一つとして考えて見たが如何。

① 青谷上寺地遺跡の出土品の展示会 特に東京地区において、世界的にもまれな古代人の脳をはじめ多種多様な遺物を展示。前述の古代人の脳は誰でも一見の要があり、長蛇の列で話題になること間違いない。東京にて開催された、いずれにしても鳥取の発展策を多種多様に考えていただき、活気ある鳥取にして貰いたい。

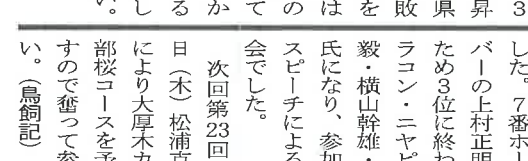
② グランドゴルフ発祥の地を活用 私も週に3回グラウンドゴルフをやっているが、泊地区が発祥の地であること、東京の人たちは殆ど知らない。グランドゴルフの熱は全国的に盛んになっており、プレイを主体にして、例えば三朝温泉、泊、鳥取砂丘等をセットにしたツアーを企画したら如何。



▲圍碁会熱戦風景

## 圍碁会 高段組対低段組の対抗戦と いう新趣向は高段組に凱歌

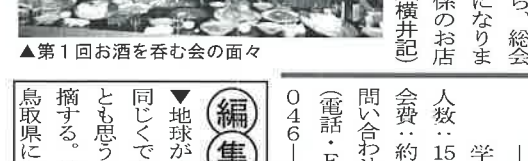
圍碁倶楽部第5回大会は5月18日(日)麴町のダイヤモンド囲碁サロンで開催。今回は趣向を変えて高段組対低段組の対抗戦とした。1段差1目のハンデで、指導する方が強いが、さてまた置石の威力を発揮する低段組が有利か、24名が二手に分かれて熱戦を始めた。結果は高段組が勝利。個人は最長老八村義郎さんが優勝され、実力ナンバーワンの三刀谷敏彦さんは惜しくも準優勝でした。7番ホールまで2オーバーの上村正明さんは豪雨のため3位に終わりました。ドレーン・ニヤビン賞は三刀谷敏彦、横山幹雄、松浦克己の3氏になり、参加者全員によるスピーチによる楽しいゴルフ会でした。



▲第1回お酒を呑む会の面々

## ゴルフ会 八村さんが雨の中で快勝 次回は大厚木CCC

第22回因伯オープンゴルフ大会は本年4月10日都内江東区の若洲ゴルフリンクスで同好者19名が参加して開かれ、八村義郎さんが優勝され、実力ナンバーワンの三刀谷敏彦さんは惜しくも準優勝でした。7番ホールまで2オーバーの上村正明さんは豪雨のため3位に終わりました。ドレーン・ニヤビン賞は三刀谷敏彦、横山幹雄、松浦克己の3氏になり、参加者全員によるスピーチによる楽しいゴルフ会でした。



▲第1回お酒を呑む会の面々

## 茶懐石の会

新しい趣味の会  
総務部主催茶懐石の会は初心者でも気軽に楽しめるお茶と食事の会です。男女を問わず興味のある会員の参加をお待ちしております。(桑田記)

日時: 6月13日(金)11時集合  
午前11時30分~15時30分  
場所: レストラン松栢軒  
(東京都豊島区駒込3-24-3 女子栄養大学4号館5階)  
人数: 15名程度  
会費: 約9,000円  
問い合わせ先: 桑田百々子さん  
(電話・FAX) 046-871-0007

## 編集後記

地球が病んでいる。人様も同じくである。こんな時代だとも思う。教育が問題だと指摘する。教育立県を標榜する鳥取県に期待しよう。(遠藤)